

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10



アプリをダウンロードしましょう

“Spatial Audio Video Tool”アプリを使って、録音・再生・編集してみましょう。
録音したデータはエクスポート機能で用途に応じたフォーマットで出力できます。

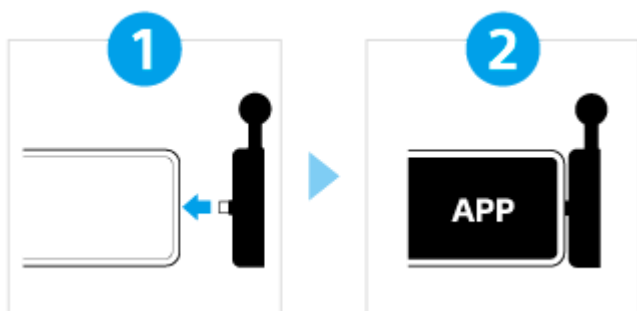
中国本土以外の国・地域向けのお客様：



中国本土向けのお客様：

[ダウンロードURL](#)

使い始めよう



1 マイクを接続する



マイクのUSB Type-CコネクタをスマートフォンのUSB Type-C端子に接続します。マイクのソニーロゴがスマートフォンの背面にくるように接続してください。マイクは縦向き、横向きどちらでも使えます。マイクを強固に固定したい場合は、三脚などに取り付けることもできます。

2 録音する



“Spatial Audio Video Tool”アプリをダウンロードし、インストールした“Spatial Audio Video Tool”アプリを使って録音します。

[ECM-AX10でできること](#)

準備する

付属品について

[箱の中身を確認する](#)

[ウインドスクリーンを使う](#)

[マイクホルダーを使う](#)

[スペーサーを使う](#)

各部の名前

[各部の名前](#)

専用アプリを使う

[“Spatial Audio Video Tool”アプリをインストールする](#)

[“Spatial Audio Video Tool”アプリの画面構成](#)

録音する

録音前の準備

[マイクを接続する](#)

[録音中のマイクの向きについて](#)

[録音の設定を変更する](#)

録音する

[録音する](#)

[録音中の音を聞く（録音モニター）](#)

[フロントカメラで撮影しながら録音する](#)

再生する

[再生する](#)

編集する

[編集する](#)

[エクスポートする](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[お手入れ](#)

[マイクが水にぬれてしまった場合は](#)

[ライセンスについて](#)

[商標について](#)

[ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご利用いただくために）](#)

困ったときは

[困ったときにすること](#)

主な仕様

[主な仕様](#)

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

ECM-AX10でできること

ECM-AX10に搭載された4個のマイクで左右上下前後、全方位の音を録音します（空間音響）。

“Spatial Audio Video Tool”アプリの活用

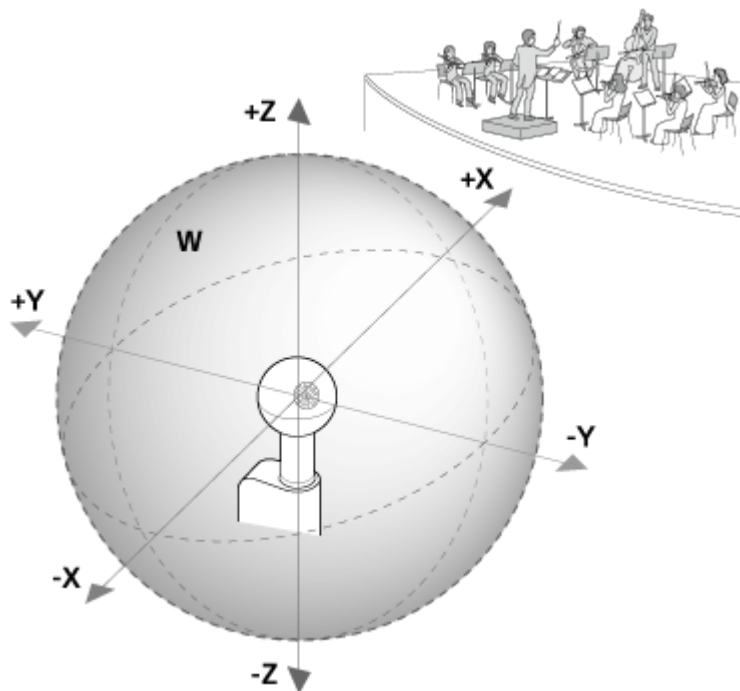
専用アプリを使うと、録音、再生、編集ができます。録音したデータはエクスポート機能で用途に応じたフォーマットで出力できます。

ヒント

- SPATIALモードを使うと、[Ambisonics(4ch)] または [Binaural] で録音されます。専用アプリ以外では [Binaural] でのみ録音されます。

SPATIAL（空間音響）モードについて

4個のマイクで音の向き・高さ・奥行き・音の移動など、三次元空間をそのまま録音します。



- +X : 前
- -X : 後ろ
- +Y : 左
- -Y : 右
- +Z : 上
- -Z : 下
- W : 全方位

視聴環境に合わせて、[Ambisonics(4ch)] または [Binaural] の録音モードを専用アプリで設定します。

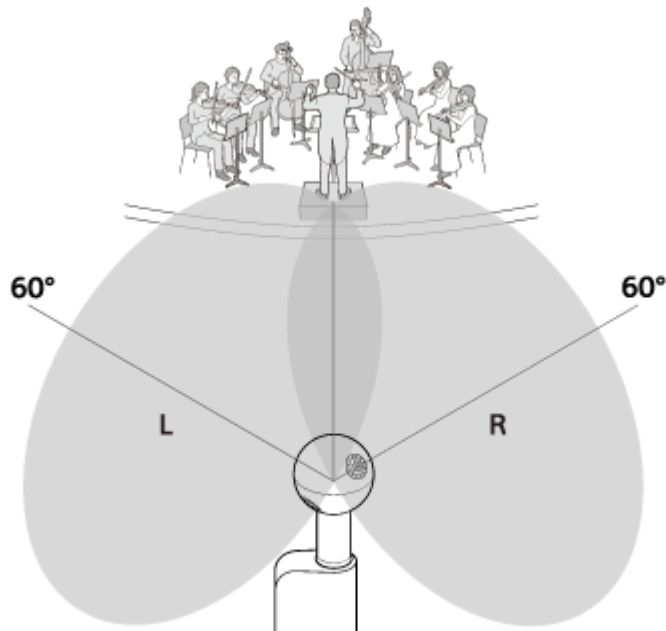
- [Ambisonics(4ch)] : Ambisonics B-format (AmbiX) で録音されます。
“Spatial Audio Video Tool”アプリを使うと、次のオーディオ出力形式に変換してエクスポートできます。
 - － [Eclipsa Audio] * : Eclipsa Audio準拠の動画を作成するときに選びます。

- [Binaural] : ヘッドホンでの視聴に適した空間音響方式の動画を作成するときに選びます。
- [Stereo] : 前方左右の2チャンネルの動画を作成するときに選びます。
- [音声のみ: Ambisonics (4ch/WAV形式)] : AmbiX形式の音声データのみを出力するときに選びます。
* 空間音響をマルチチャンネル環境で収録／再現することができるフォーマットの一種です。

- [Binaural] : ヘッドホンでの視聴に適した空間音響方式（Binaural）で録音されます。

STEREOモードについて

前方左右の2チャンネルで録音されます。



- L : 左
- R : 右

ヒント

- [Binaural] と [Stereo] の違いは以下の通りです。
 - [Binaural] : ヘッドホンでの視聴に適した全方位の指向性を持つ空間音響方式です。
 - [Stereo] : 前方左右の指向性を持つ一般的な音響方式です。
- 専用アプリ以外を使って、SPATIALモードで録音してうまくいかないときは、STEREOモードで録音してください。

ご注意

- 専用アプリを使用中は、ほかの録画録音アプリを起動しないでください。また、専用アプリ以外のアプリを使用する際は、“Spatial Audio Video Tool”アプリを終了してください。

TP1002321076

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

箱の中身を確認する

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

() 内は個数を示します。

プラグインタイプマイクロホン (1)

ウインドスクリーン (1)



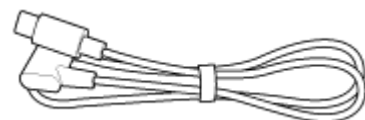
スペーサーシート (1)



シューマウント・マイクホルダー (コールドシュー/電気接点なし) (1)



USB Type-C™ケーブル (USB-C™ - USB-C™) (約30 cm) (11.82 インチ) (1)



印刷物 (一式)

ヒント

- 付属のUSB Type-Cケーブルは本機専用です。

ご注意

- スペーサーシートは消耗品です。スペーサーシートが破損し交換する場合はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

- 小さな部品を飲み込む恐れがあります。ご使用後は乳幼児の手の届かないところに保管してください。

TP1002321075

5-076-260-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

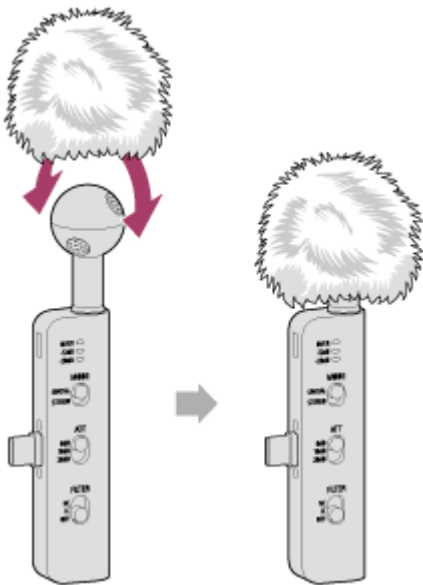
プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

ウインドスクリーンを使う

風や息がマイクに直接当たるときに生じるノイズを低減します。

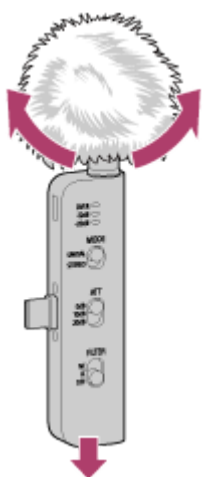
ウインドスクリーンを取り付ける

ウインドスクリーン開口部の生地を広げながら、マイク部分と首元がすっぽり隠れる深さまでウインドスクリーンをかぶせてください。



ウインドスクリーンを取り外す

ウインドスクリーン開口部の生地を広げながら、マイクを引っ張ってください。



ご注意

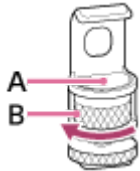
- ウインドスクリーンを取り付け/取り外すときは、毛の部分のみを引っ張らないよう、生地の方を持ってください。
- ウインドスクリーンが雨にぬれた場合は、マイクから取り外して陰干ししてください。

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

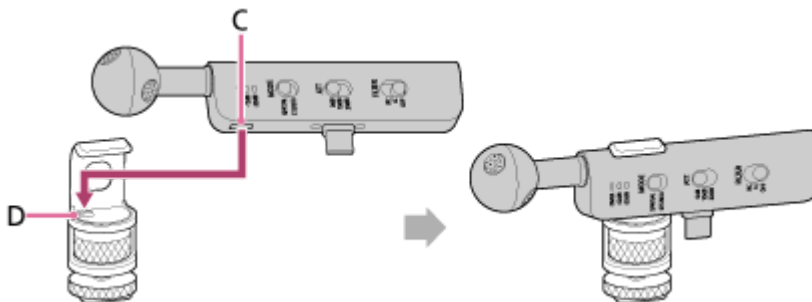
マイクホルダーを使う

スマートフォンを横向きに固定するときは、市販のシューホルダー付きスマホホルダーと付属のマイクホルダーを使います。

- 1 マイクホルダーのマイク固定ダイヤル (B) を左に回して固定台 (A) を一番下に下げる。

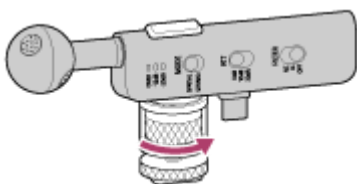


- 2 マイク側面のくぼみ (C) と、マイクホルダーの突起部 (D) を合わせ、上部のアーム部受けに対して傾かないように設置する。

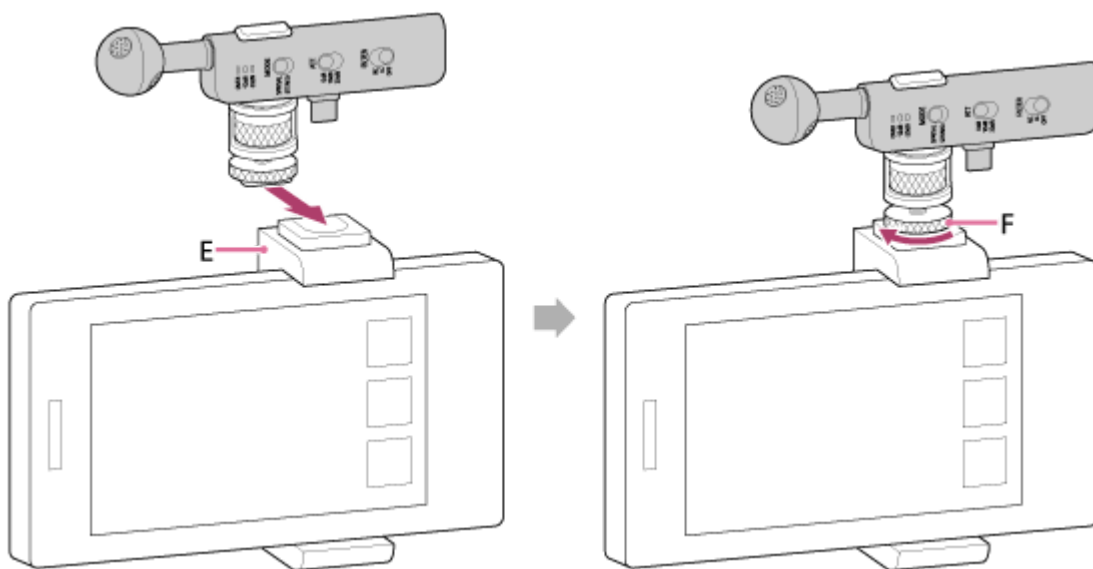


- 3 マイクホルダーのマイク固定ダイヤルを右に回してマイクをマイクホルダーに固定する。

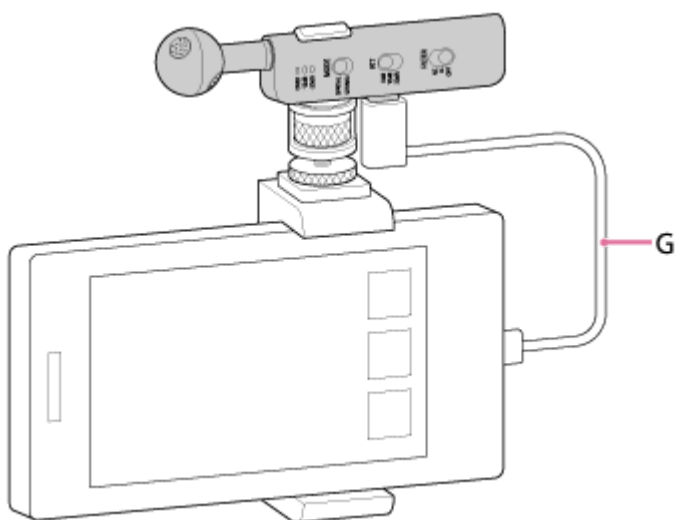
アーム部のクッションに当てるようにダイヤルを回してください。



- 4 マイクホルダーをスマホホルダー (E) に取り付け、固定ダイヤル (F) を左に回して固定する。



5 マイクとスマートフォンを付属のUSB Type-Cケーブル（G）で接続する。



ご注意

- 録音中はケーブルに触れないように注意してください。ノイズが入ることがあります。

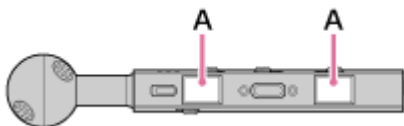
TP1002326234

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

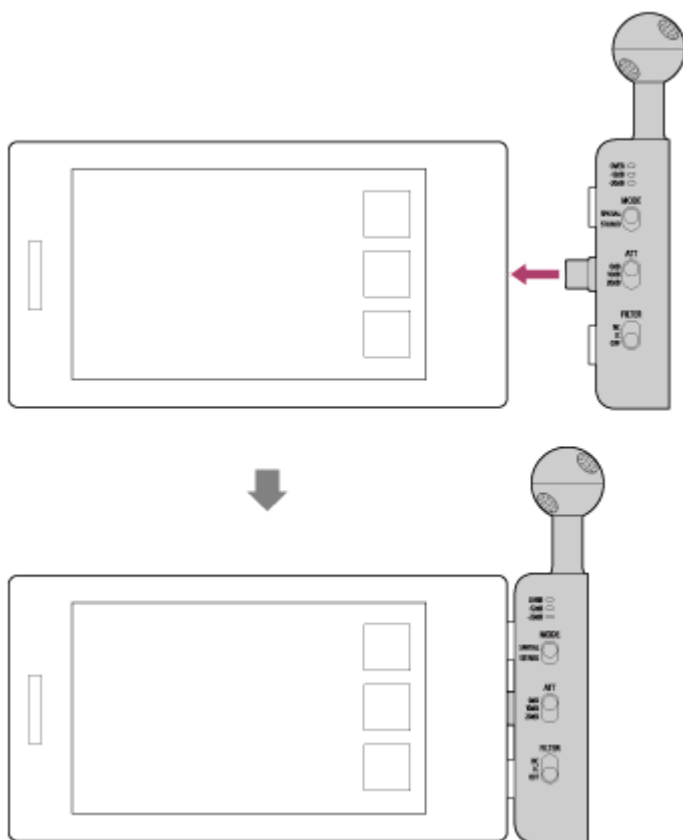
スペーサーを使う

スマートフォンのUSB Type-C端子にマイクを接続したときにすき間ができた場合は、付属のスペーサーを使用します。

- 1 マイクのUSB Type-Cコネクタの左右2か所（A）にスペーサーを貼る。



- 2 マイクをスマートフォンに接続し、マイクとスマートフォンとの間にがたつきがないことを確認する。



ヒント

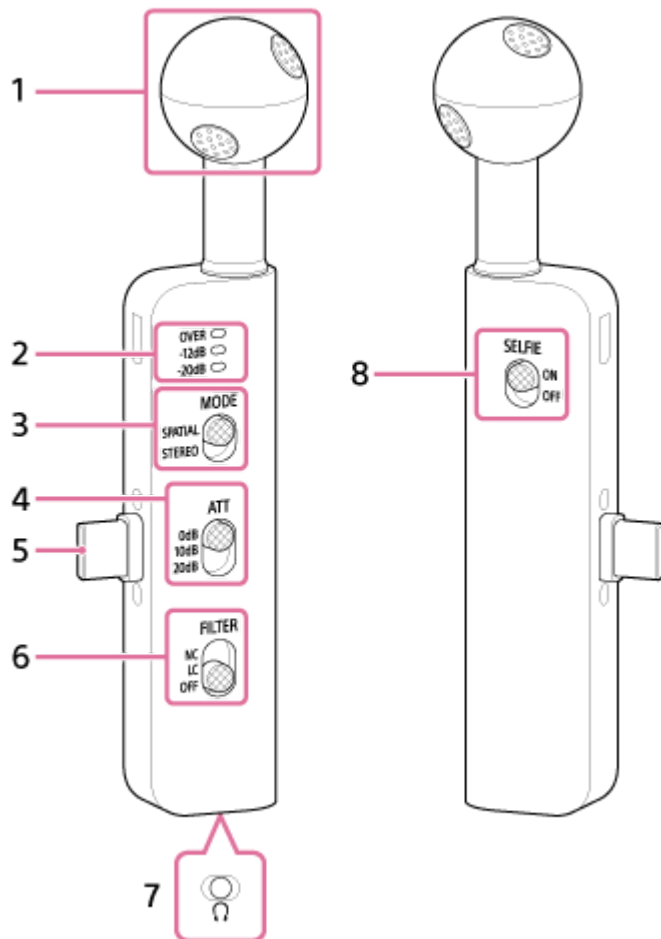
- スペーサーを貼ってもがたつきがある場合は、スペーサーを重ね貼りしてください。

ご注意

- USB Type-Cコネクタは奥までしっかり差し込んでください。お使いの端末にケースをつけている場合など、USB Type-Cコネクタが正しく接続されず、マイクが認識されないことがあります。
- マイクホルダーを使うときはスペーサーを外してください。

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

各部の名前



1. マイク

2. ピークレベルメーター

録音中の最大ピーク時をランプで表示します。

「OVER」が点灯していると、ひずみが発生する場合があります。

その場合は、ATTスイッチを「10dB」または「20dB」に設定してください。

3. MODE（モード）スイッチ

録音する音の指向性を選びます。

- 「SPATIAL」（空間音響）：上下左右の広がりや前後の奥行きまで録音します。
- 「STEREO」（ステレオ）：前方左右の定位を強調して録音します。

4. ATT（アッテネーター）スイッチ

収録したい音声の大きさに応じて選択します。

大きい音をひずみを抑えて収録するには「20dB」に設定します。

専用アプリやマイクのレベルメーターで音量を確認しながら設定することをおすすめします。

5. USB Type-Cコネクタ

スマートフォンのUSB Type-C端子に接続します。

6. FILTER（フィルター）スイッチ

- 「NC」（ノイズカット）：ノイズカットフィルターを使うときに選びます。定常的な雑音をデジタル信号処理で効果的に除去します。音質に違和感が生じる場合には「OFF」にします。
- 「LC」（ローカット）：ローカットフィルターを使うときに選びます。風切り音や空調ノイズ、振動ノイズなどの不要な雑音を低減します。
- 「OFF」：フィルターをオフにします。

ご注意

- 静かな環境で、手持ちで使用したときなどに微小な振動音が記録される場合があります。振動音が気になる場合は、FILTERスイッチを「LC」に設定してお試しください。

7. ヘッドホンケーブル入力端子（Φ 3.5 mm）

別売のヘッドホンを接続して録音中の音をモニターします。モニタリング音量は、専用アプリで調整できます。

8. SELFIE（セルフイー）スイッチ

録音する音の方向を選びます。スマートフォンのフロントカメラで撮影するときに「ON」にしてください。

TP1002326245

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

“Spatial Audio Video Tool”アプリをインストールする

録音・再生・編集するためのアプリケーション“Spatial Audio Video Tool”をお使いのスマートフォンにインストールします。

- 1 Google PlayまたはApp Storeから、お使いのデバイスに“Spatial Audio Video Tool”アプリをダウンロードしてインストールする。



- 2 マイクをスマートフォンに接続する。
「[マイクを接続する](#)」をご覧ください。

- 3 “Spatial Audio Video Tool”アプリを起動する。

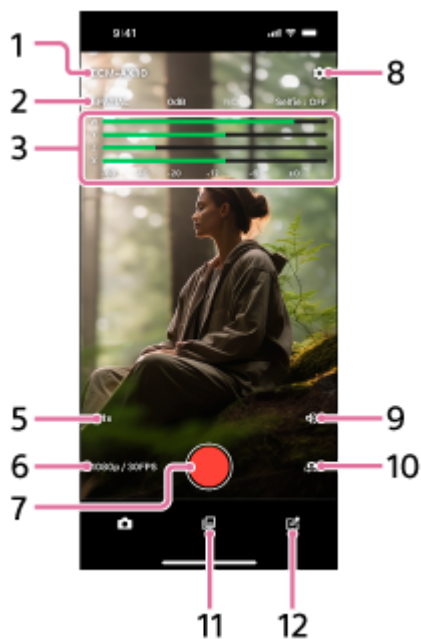
画面の案内にしたがって操作し、録画画面が起動することを確認してください。



“Spatial Audio Video Tool”アプリの画面構成

録画面面

● 録音前の録画面面



● 録音中の録画面面



1. 使用中マイク
2. 録音時の設定状態を表示
3. ピークレベルメーター

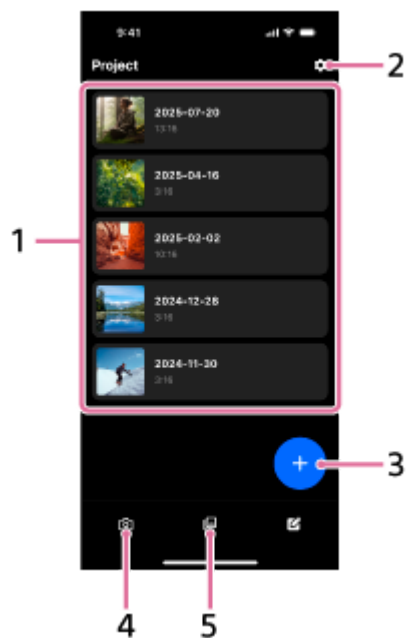
4. 撮影経過時間
5. ズーム倍率
6. 動画の解像度／フレームレート
7. 撮影開始／終了ボタン
8. 設定メニュー
9. モニタリング音量
10. メインカメラ／フロントカメラ切り替え
11. メディア画面へ
12. プロジェクト画面へ

メディア画面



1. メディア一覧（オーディオ種別、録音時間）
2. 設定メニュー
3. 録画画面へ
4. プロジェクト画面へ

プロジェクト画面



1. プロジェクト一覧 (プロジェクト名、合計時間)
2. 設定メニュー
3. 新規プロジェクト
4. 録画画面へ
5. メディア画面へ

関連項目

- [録音の設定を変更する](#)
- [録音する](#)
- [録音中の音を聞く（録音モニター）](#)
- [フロントカメラで撮影しながら録音する](#)
- [再生する](#)
- [編集する](#)
- [エクスポートする](#)

TP1002326247

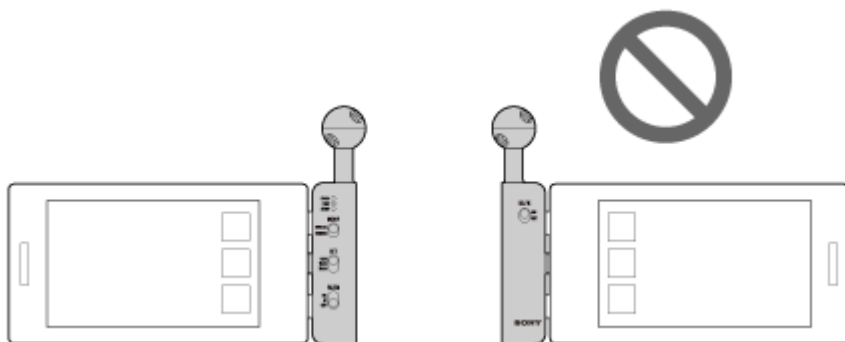
プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

マイクを接続する

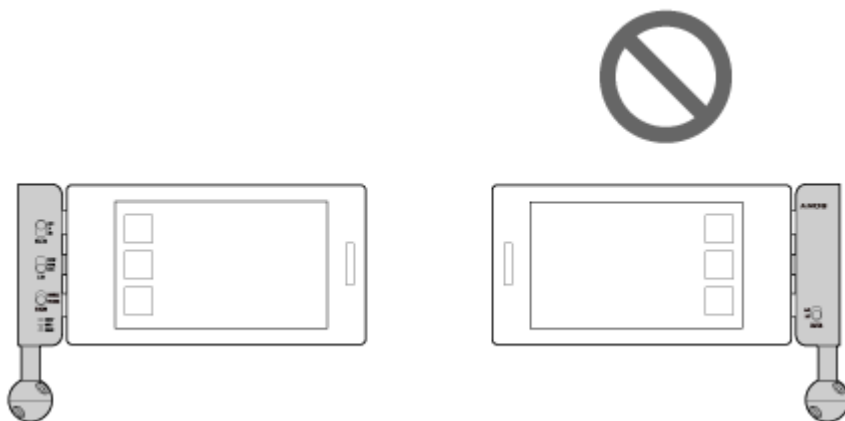
マイクとスマートフォンを直接接続する

マイクのUSB Type-CコネクタをスマートフォンのUSB Type-C端子に接続します。
マイクのソニーロゴがスマートフォンの背面に来るように接続してください。マイクは縦向き、横向きどちらでも使えます。

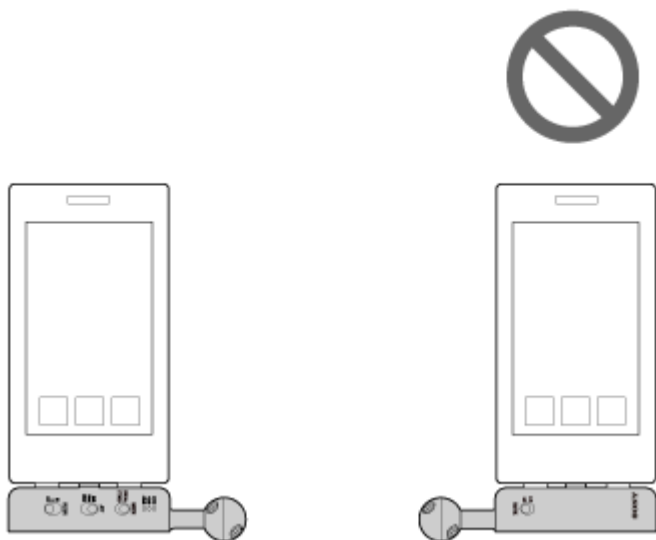
- スマートフォンの画面は横向きで、マイクを上側にして録音する場合



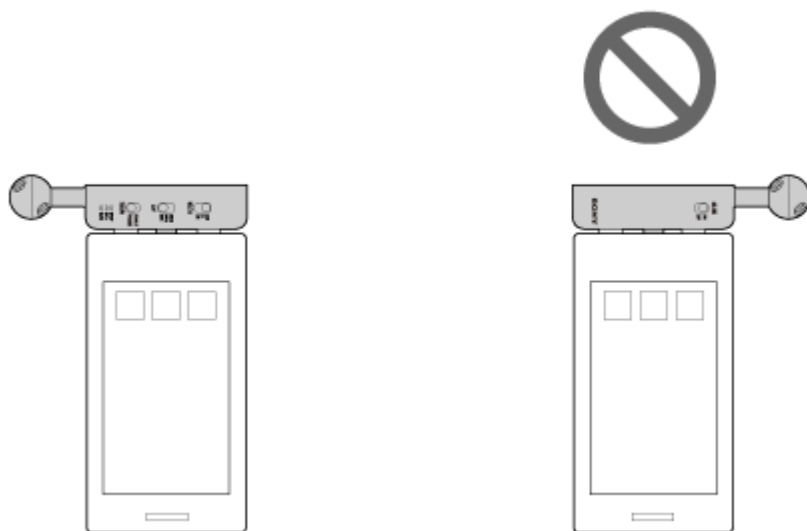
- スマートフォンの画面は横向きで、マイクを下側にして録音する場合



- スマートフォンの画面は縦向きで、マイクを下側にして録音する場合



- スマートフォンの画面は縦向きで、マイクを上側にして録音する場合

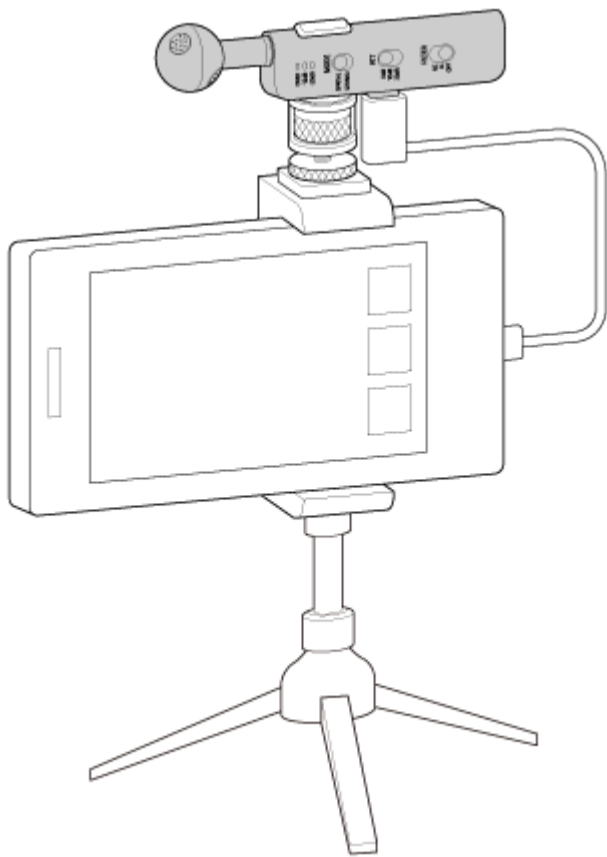


ヒント

- スマートフォンとマイクとのすき間があり不安定な場合は、マイク側にスペーサーを貼ってください。
- 画面の手振れや、振動音の録音が気になる場合は、三脚の使用をおすすめします。

市販のカメラ用三脚を使う

マイクを強固に固定したい場合は、付属のマイクホルダーを使ってカメラ用三脚に取り付けます。マイクの向きがスマートフォンと同じ向きになるように取り付けてください。



関連項目

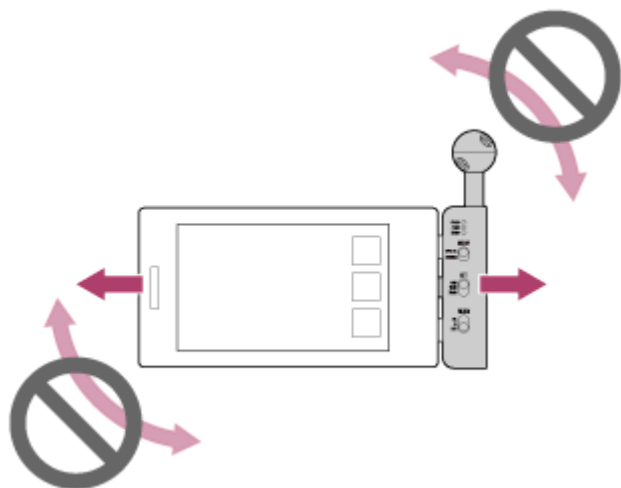
- [マイクホルダーを使う](#)
- [スペーサーを使う](#)

TP1002326248

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

録音中のマイクの向きについて

録音中はマイクの向きを固定してください。マイクを動かす場合は、向きを変えず左右へスライドさせてください。



ヒント

- マイクは加速度センサーを内蔵しており、マイクの姿勢を自動検知します。録音開始時の姿勢で空間方向を固定するので、録音中にマイクの向きを変えないでください。

ご注意

- マイクの向きを変えるときは、一旦録音を停止し、向きを変更したあと録音を再開してください。

関連項目

- [マイクを接続する](#)

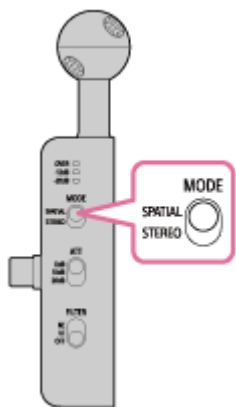
TP1002326249

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

録音の設定を変更する

マイクの指向性を選ぶ

マイクのMODEスイッチを切り替えます。



空間音響で録音するには「SPATIAL」に、ステレオで録音するには「STEREO」に設定します。
「SPATIAL」に設定した場合は、「録音方式を選ぶ」で録音方式を選んでください。

録音方式を選ぶ

SPATIALモードで録音したときの録音方式を選びます。
録音方式については「[ECM-AX10でできること](#)」をご覧ください。

1. マイクをスマートフォンに接続する。
「[マイクを接続する](#)」をご覧ください。
2. “Spatial Audio Video Tool”アプリを起動する。
3. 設定アイコン (A) をタップする。
⚙️ : 設定アイコン



4. 【SPATIAL録音モード】をタップする。
5. 設定したい録音方式を選ぶ。

- [Ambisonics(4ch)] (AmbiXフォーマット)
- [Binaural] (2chフォーマット)

ヒント

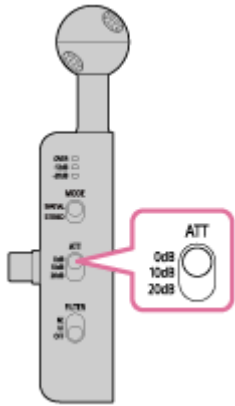
- [Binaural] と [Stereo] では、音のひずみを防ぐためレベルが自動で調整されて保存されます。

ご注意

- “Spatial Audio Video Tool” と他の録画録音アプリを同時に起動しないでください。

収録したい音の大きさに合わせて設定を切り替える

マイクのATTスイッチを切り替えます。



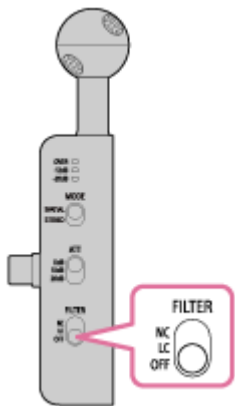
大きい音をひずみを抑えて収録するには「20dB」に設定します。

ヒント

- おおよその目安は次の通りです。
 - 「0dB」：通常使用
 - 「10dB」：騒音の大きい環境での使用
 - 「20dB」：ライブ演奏など音量が大きい環境での使用

ノイズを軽減する

マイクのFILTERスイッチを切り替えます。



雑音を除去するには「NC」に、風切り音や空調ノイズ、振動ノイズなど不要な雑音を低減するには「LC」に設定します。

ヒント

- 静かな環境で、手持ちで使用したときなどに微かな振動音が記録される場合があります。振動音が気になる場合は、FILTERスイッチを「LC」に設定してお試しください。

関連項目

- [各部の名前](#)

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

録音する

接続したマイク、またはスマートフォンの内蔵マイクで録音を行います。

1 マイクを設置する。

「[マイクを接続する](#)」、「[録音中のマイクの向きについて](#)」をご覧ください。

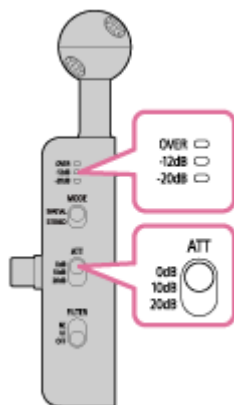
2 録音設定を変更する。

「[録音の設定を変更する](#)」をご覧ください。

3 “Spatial Audio Video Tool”アプリを起動する。

画面の指示にしたがって操作してください。

4 ピークレベルメーターを見ながら、ATTスイッチを設定する。



「OVER」が点灯していると、ひずみが発生する場合があります。ATTスイッチを「10dB」または「20dB」に設定してください。

ヒント

- ATTスイッチは、ピークレベルがレベルメーターの-12 dB付近で維持されるように設定してください。

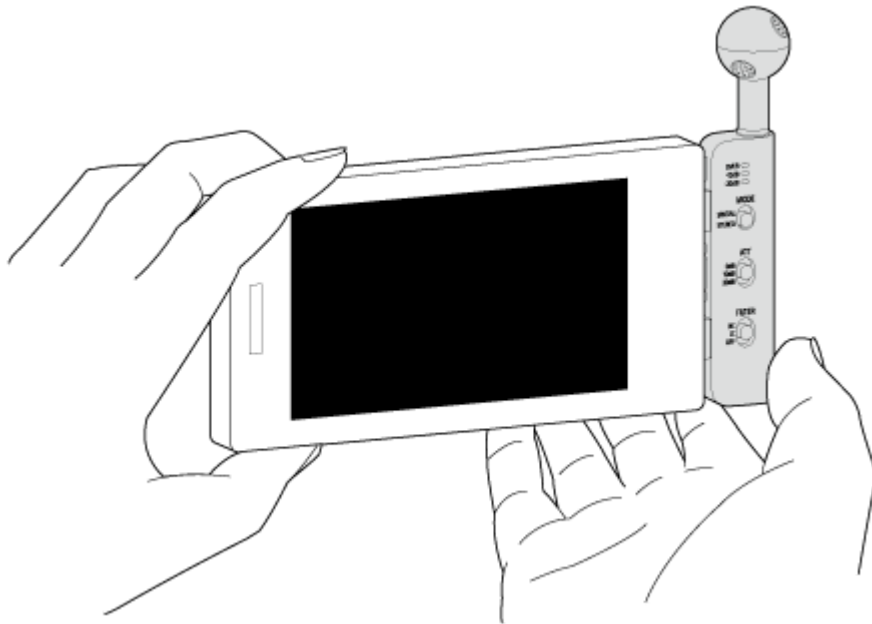
5 アプリの録画画面で撮影開始ボタン（A）をタップする。

● : 撮影開始ボタン



録画を開始します。

- マイクをスマートフォンに直接接続しているときは、スマートフォンの下側部分を両手で支えるようにして、マイクに触れないように持ってください。



- 録画を終了するには、撮影終了ボタンをタップします。

● : 撮影終了ボタン

ヒント

- ATTスイッチとFILTERスイッチは録音中でも切り替えできます。
- 録音をする前に、あらかじめ試し録りするか、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。「[録音中の音を聞く（録音モニター）](#)」をご覧ください。
- 録音レベルはアプリの録画画面で確認することもできます。

ご注意

- 録音中に以下のことを行くと、雑音が入ることがあります。
 - スイッチを切り替える
 - マイクやヘッドホンケーブルに手などを当てたりこすったりする
- マイクを接続したスマートフォンの電話機能を使うと録音が停止します。マイクを使用する際には、スマートフォンを機内モードに切り替えることをおすすめします。

関連項目

- [“Spatial Audio Video Tool”アプリの画面構成](#)
- [録音の設定を変更する](#)
- [フロントカメラで撮影しながら録音する](#)

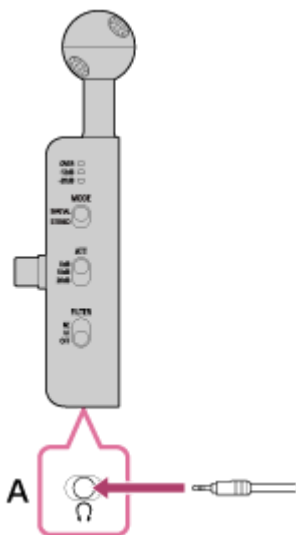
TP1002326251

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

録音中の音を聞く（録音モニター）

マイクの入力音は、マイクに接続したヘッドホンで確認することができます。

- 1 別売のヘッドホンをヘッドホンケーブル入力端子（A）に接続する。



- 2 “Spatial Audio Video Tool”アプリでモニタリング音量（B）を調整する。



ヒント

- マイクのMODEスイッチを「SPATIAL」に設定しているときは、Binauralの音声をモニターできます。
「STEREO」に設定しているときは、ステレオの音声をモニターできます。

ご注意

- 録音モニター中に音量を上げすぎたり、ヘッドホンを本体に近づけすぎたりすると、ヘッドホンの音をマイクが拾い、ピーツという音（ハウリング）が生じることがあります。
- 録音モニターには、音漏れの少ない密閉型ヘッドホンを使用することをおすすめします。
- 録音モニター使用中は録画画面を表示したままにしてください。録画画面以外の画面に切り替えた場合、録音モニターは停止します。
- ノイズキャンセリング用の5極端子のヘッドホンには対応していません。
- マイクをスマートフォンに接続しているときは、スマートフォンとBLUETOOTH®接続したヘッドホンでは録音モニターできません。

関連項目

- [“Spatial Audio Video Tool”アプリの画面構成](#)
- [録音の設定を変更する](#)

TP1002326252

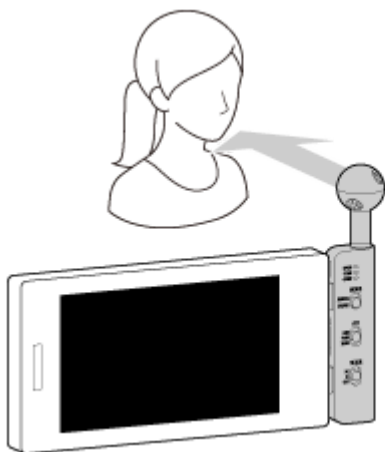
5-076-260-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

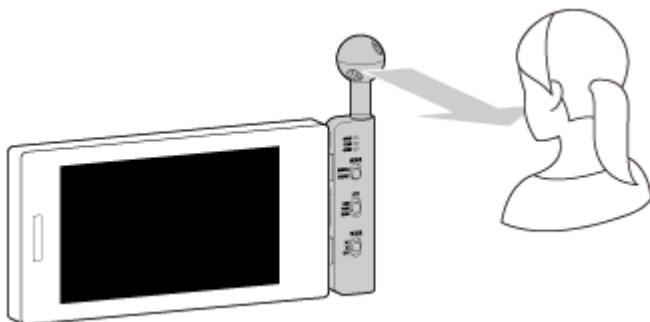
フロントカメラで撮影しながら録音する

スマートフォンのフロントカメラで撮影しながら録音します。

- SELFIEスイッチがOFFのとき、メインカメラで撮影する方向からの音を録音します。



- SELFIEスイッチがONのとき、フロントカメラで撮影する方向からの音を録音します。

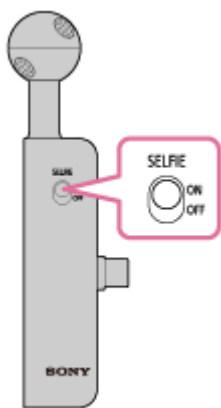


- 1 “Spatial Audio Video Tool”アプリの回転アイコン (A) をタップしてセルフイーモードにし、画面が切り替わったことを確認する。

 : 回転アイコン



- 2 マイクのSELFIEスイッチを「ON」に設定する。



3 録音する。

「[録音する](#)」をご覧ください。

ヒント

- SELFIEスイッチを「ON」にすると、マイクを中心として手前側が奥行方向に逆転します。そのため、前後方向と左右方向が逆転して録音されます。
- SELFIEスイッチを「ON」にして録音中にモニター音を聞くと、撮影者の左右とモニター音の左右が異なって聞こえますが、記録される動画の音声では左右が一致します。

関連項目

- [録音の設定を変更する](#)
- [録音する](#)
- [録音中の音を聞く（録音モニター）](#)

TP1002326253

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

再生する

1 “Spatial Audio Video Tool”アプリを起動する。

録画画面が起動します。

2 メディアアイコン (A) をタップし、メディア画面を開く。

 : メディアアイコン



3 再生する動画 (B) をタップする。



選んだ動画の再生画面が表示され、動画が再生されます。

4 スマートフォンを操作して、適度な音量に調節する。

動画を削除するには

再生画面で削除アイコンをタップします。
画面の指示にしたがって操作してください。

 : 削除アイコン

ヒント

- マイクのMODEスイッチを「SPATIAL」に設定して録音した場合は、Binauralの音声で再生されます。「STEREO」に設定して録音した場合は、ステレオ音声で再生されます。
- 再生画面でエクスポートアイコンをタップすると、用途に応じたフォーマットで出力できます。
 : エクスポートアイコン
- プロジェクトで使用中の動画を削除すると、プロジェクトから再生ができなくなってしまうためご注意ください。

ご注意

- マイクを接続しているときはスマートフォンのスピーカーからは音声が出力されません。音声を確認する場合はマイクを外すか、マイクにヘッドホンを接続してください。

関連項目

- [“Spatial Audio Video Tool”アプリの画面構成](#)
- [エクスポートする](#)

TP1002326257

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

編集する

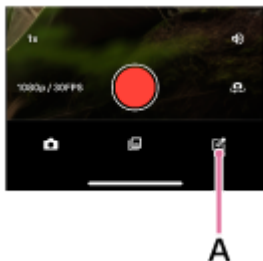
“Spatial Audio Video Tool”アプリで録音した動画は、画面の向きや音量を調節したり、トリミングをすることができます。

1 “Spatial Audio Video Tool”アプリを起動する。

録画画面が起動します。

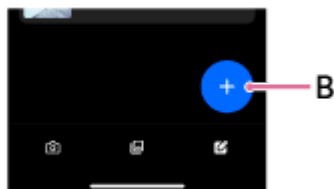
2 プロジェクトアイコン (A) をタップし、プロジェクト画面を開く。

 : プロジェクトアイコン



3 新規プロジェクトアイコン (B) をタップする。

 : 新規プロジェクトアイコン



4 画面の向きを選ぶ。

- [横長] : 横長 (16:9) の画面にしたいときに選びます。
- [縦長] : 縦長 (9:16) の画面にしたいときに選びます。

5 編集する動画を選び、[OK] をタップする。

選んだ動画の編集画面が表示されます。

6 画面の指示に従って編集を行う。

動画の前後をトリミングするには

1. プロジェクト画面でトリミングしたい動画をタップする。

編集画面が表示されます。

2. タイムラインエリアをタップする。

3. 動画の先頭または終わりにある白い枠を横にスライドさせて動画の長さを調整する。
先頭を調整するときは、00:00の箇所に先頭としたい部分のキャプチャを合わせてください。

4. 画面左上の戻るアイコンをタップする。

◀ : 戻るアイコン

編集内容が保存されます。

ヒント

- 動画を選んだ状態で削除アイコンをタップすると、選んだ動画を削除できます。

🗑 : 削除アイコン

関連項目

- [“Spatial Audio Video Tool”アプリの画面構成](#)

TP1002326258

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

エクスポートする

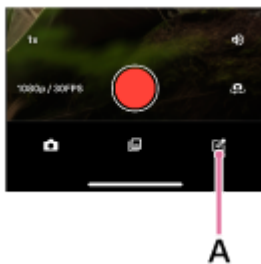
録音したデータはエクスポート機能で用途に応じたフォーマットで出力できます。

1 “Spatial Audio Video Tool”アプリを起動する。

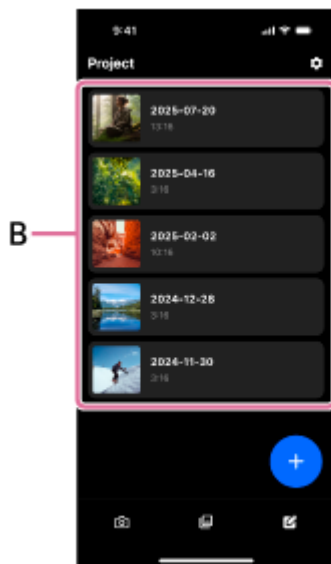
録画画面が起動します。

2 プロジェクトアイコン (A) をタップし、プロジェクト画面を開く。

 : プロジェクトアイコン



3 エクスポートする動画 (B) をタップする。



4 【エクスポート】をタップする。

5 ファイル名を確認し、オーディオ出力形式を選ぶ。

- [Eclipsa Audio] : Eclipsa Audio準拠の動画を作成するときに選びます。
- [Binaural] : ヘッドホンでの視聴に適した空間音響方式の動画を作成するときに選びます。
- [Stereo] : 前方左右の2チャンネルの動画を作成するときに選びます。
- [音声のみ: Ambisonics (4ch/WAV形式)] : AmbiX形式の音声データのみを出力するときに選びます。

6 【エクスポート】をタップする。

ヒント

- 再生画面からエクスポートすることもできます。
- 動画でエクスポートするときは、音のひずみを防ぐためレベルが自動で調整されて保存されます。
[音声のみ: Ambisonics (4ch/WAV形式)] でエクスポートする場合は、コンプレスされず、録音された音量のままとなります。

関連項目

- [“Spatial Audio Video Tool”アプリの画面構成](#)
- [再生する](#)

TP1002326259

5-076-260-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

使用上のご注意

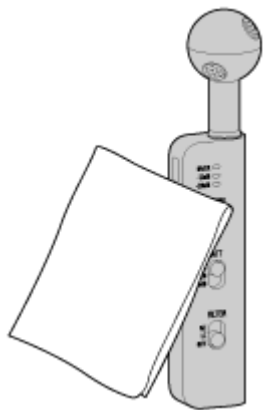
- 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能は備えていません。雨中での使用時は、本機に雨がつかないようにしてください。
- 本機がぬれた状態でUSBコネクタを挿入しないでください。また、挿入時は異物を混入させないでください。
- 破損や不具合の原因となる場合がありますので以下にご注意ください。
 - － 本機は精密機器のため、落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えない。
 - － 高温多湿の場所での使用、保存を避ける。
 - － 屋外使用するときは、雨や海水にぬれないようにする。
 - － 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
- 付属のUSB Type-Cケーブルは本機にのみ対応しています。
- 本機（マイクやウインドスクリーンなど）にほこりや水滴などが付着していると、正しく録音されないことがあります。取り除いてから使用してください。
- 本機と接続する機器の通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- 録音中に接続機器の無線通信が行われると、録音データにノイズが入ることがあります。そのような場合には、接続機器を機内モードに切り替えて使用してください。
- 外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 本機を接続している間、接続機器のスピーカーからは音声が出力されません。スピーカーで音声を聴く場合は、録音終了後に本機を接続機器から取り外してください。
- 使用後は、接続機器から取り外して保管してください。接続したまま使用していると、コネクタ部分に無理な力が加わり破損する場合があります。
- OTG設定を個別に設定できるスマートフォンの場合、初期設定でオフになっていることがあります。その場合は、スマートフォンの設定でOTG接続をオンにしてください。

TP1002326260

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

お手入れ

使い終わった後は、マイクの外装のほこりや汚れは、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。



ご注意

- アルコールを含むウェットティッシュ、シンナー、ベンジンなどは表面の仕上げを痛めたり、故障や破損につながるため使わないでください。

関連項目

- [マイクが水にぬれてしまった場合は](#)

TP1002326263

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

マイクが水にぬれてしまった場合は

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用ください。

- マイク部分に向けて、水を強く当てないでください。
- 寒冷地などでは、凍結する恐れがあります。使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。
- マイクを水の中に入れたり、風呂場など、湿度の高いところで使用しないでください。
- マイクに水がかかった場合は、
 1. マイクに付着した水滴は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
 2. その状態のまま常温で放置し乾燥させてください。

TP1002326264

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<https://rd1.sony.net/help/proaudio/sl/26/>
- 本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

TP1002326266

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

商標について

- Google PlayはGoogle LLCの商標です。
- Eclipsa Audioおよび関連ロゴは Google LLC の商標です。
- App Storeは、米国および他の国や地域で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- USB Type-C™およびUSB-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1002326267

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

“Spatial Audio Video Tool”アプリを使ってマイクの最新のソフトウェアをインストールすることで、新しい機能を楽しむことができたり、いくつかの問題が解決することがあります。常にソフトウェアを最新の状態にしてお使いください。

マイクの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法について詳しくは、サポートページ内のお知らせなどをご確認ください。

以下の方法で、マイクのソフトウェアアップデートを行うことができます。

- 1 スマートフォンなどモバイルデバイスで“Spatial Audio Video Tool”アプリを起動する。
- 2 設定アイコンをタップする。
⚙️ : 設定アイコン
- 3 画面の表示に従ってアップデートを行う。

ご注意

- マイクのアップデートが完了できない場合、以下の点に注意してください。
 - モバイルデバイスにある、“Spatial Audio Video Tool”アプリ以外のアプリをすべて終了する。
 - モバイルデバイスを十分に充電する。
 - アップデートはモバイルデバイスの省電力モード*をオフにして行う。
お使いのモバイルデバイスのOSバージョンによって、省電力モードではアップデートが完了しない場合があります。

* 名称はお使いのモバイルデバイスによって異なります。

関連項目

- [“Spatial Audio Video Tool”アプリの画面構成](#)

TP1002326265

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れにしたがってください。

1. マイクをスマートフォンから取り外す。



2. スマートフォンを再起動する。



3. 下記のサポートサイトで該当するトラブルと解決方法を調べる。
<https://www.sony.net/support/ECM-AX10/>



4. それでも正常に動作しない場合は、下記のソニーの相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。
<https://www.sony.net/support-contact>

TP1002326261

プラグインタイプマイクロホン
ECM-AX10

主な仕様

電源：

USBバスパワー対応（5 V、100 mA）（SPATIALモード、ヘッドホン未接続時）

許容動作温度：

0 °C～40 °C（華氏 32 °～ 104 °）

外形寸法（幅×高さ×奥行き）：

約35.1 mm × 116.1 mm × 21.2 mm（1.39 インチ × 4.58 インチ × 0.84 インチ）（突起含まず）

質量：

約24 g（0.85 オンス）（マイクロホンのみ）

形式：

バックエレクトレットコンデンサー型

サンプリング周波数/量子化ビット数：

サンプリング周波数 48kHz

量子化ビット数 16bit（Integer）、24bit（Integer）、32bit（Float）（スマートフォンによる自動選択、ビット数が多い方から優先されます。）

周波数特性：

20 Hz - 20 000 Hz

指向特性：

Spatial（Ambisonics/Binaural）／Stereo（切替）

正面感度：

-20 dBFS（0.1 Pa、1 kHz）（ATTスイッチ0dB設定時）

最大入力音圧レベル：

120 dB SPL以上（マイクロホンの出力信号が1 kHzで1%の波形ひずみを生じる入力レベルの等価入力音圧換算値、0 dB=2×10⁻⁵ Pa）

マイクの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

TP1002326262